



No.882 令和4年(2022)9月5日(月) 2022-35号
発行責任者:院長 澤田勝寛
isonare@ka2.so-net.ne.jp

◆コロナ関係

日本の感染者総数は1950万人、総人口1億2千万人のうち6人に1人が感染したことになります。あと3か月で武漢から数えると丸3年。ここまで長くなるとは思っていませんでした。

1日の感染者数が10万人となり一時の20万人越えの時期からは半減したことになります。コロナ感染も「市民権」を得たようで、周りに感染者がいても、大騒ぎせず、感染者同士がお互いに病状確認するほどに「普及」したように思います。

収束の目途はたちませんが、以前のようにピーキーにならずに対応できるようになりました。

◆病院・慈恵会グループからのお知らせ

- ・慈恵会グループ代表者会議(リモート会議)
22日木曜 14:00~17:00
- ・松江総合医療専門学校
9月29日木曜 看護学科1年生の宣誓式
9月30日金曜 識者懇話会
- ・新須磨病院
9月27日火曜、13:30~15:00
2020年度神戸市保健所立入検査

◆私の本棚

コンテイジョン

ロビン・クック ハヤカワ文庫

医学サスペンスの巨匠の本。フィーバー、コーマ、神を演じるもの、ミュートーションなど、名作多数あり。本書は、20年ほど前の院内感染を扱ったサスペンスもので、再読した。今読んでもさほど違和感がないほど巧みに描かれている。

この手の小説は読みだしたら止まらず、600ページを一气読み。ストーリーは下記のとおり。

ニューヨークのマンハッタン総合病院で、不審な病気が流行しはじめていた。糖尿病で入院した患者が、強い伝染力をもつ原因不明の感染症により死亡してしまったのだ。ニューヨーク市の監察医ジャック・ステープルトンは、院内感染による肺ペストを疑って、調査を開始する。だが、真相解明もままならないうちに、病気は患者だけでなく病院スタッフにまで広がっていく。しかも、ジャックには恐るべき魔手が迫っていた…。



六つの精進

稲盛和夫

1. 誰にも負けない努力をする
2. 謙虚にして驕らず
3. 反省のある毎日をおくる
4. 生きていることに感謝する
5. 善行、利他行を積む
6. 感性的な悩みをしない

稲盛和夫さんが、8月24日90歳で老衰のためなくなりました。一代で京セラという大企業を立ち上げ、NTT独占の携帯電話業界で第二電電(KDDI)を起こし、さらには経営破綻したJALの再建と、大きな功績を残された起業家で名経営者です。

経営の神様松下幸之助に次ぐくらいの多くの著書があり、10冊ほど読みました。いずれも経営者の心構え、経営の考え方、経営の哲学などについて、書かれており、それらを凝縮したのが左に書いた「六つの精進」だと思います。

◆今週の院長予定

9月5日	月	8:00運営会議、17:30医局会					
9月6日	火	9:00外来、14:00手術					
9月7日	水	松江					
9月8日	木	9:00~11:00来客、13:00面接、16:15神戸校運営会議					
9月9日	金	9:00外来、14:00手術、20:00須磨区医師会					
9月10日	土	9:45新須磨クリニック健診					
9月11日	日	11:30松江校オープンキャンパス でリモート挨拶					

神戸で一番
親切で
丁寧で
優しい医療を

